

平成23年度決算概要報告

法人全体

(単位:百万円)

項目	H23決算	H23当初予算	予算差引 (-)	H22決算	前年度差引 (-)	対前年度増減理由
経常費用合計	59,409	59,741	▲331	56,293	3,115	外部資金獲得増に伴う大学研究経費増(+211) 附属2病院における人件費増(+1,358) 附属2病院における診療経費増(+1,119)
経常収益合計	59,690	59,741	▲50	57,942	1,748	運営交付金収益の減(189) 附属2病院における附属病院収益の増(+1,466) 大学部門における科学技術振興事業費等補助金の受入増(+341)
経常利益	281	-	281	1,648	▲1,366	
臨時損失	7	-	7	3,059	▲3,051	H22固有事由(退職給付費用、過年度分支給手当等)からの減(3,035)
臨時利益	2	-	2	197	▲195	H22固有事由(第1期中期計画終了に伴う運営交付金退職金分の収益化)からの減(174)
当期純利益	276	-	276	▲1,212	1,488	
目的積立金取崩額	100	-	100	1,852	▲1,751	H22固有事由(退職給付費用への充当等)からの減(1,852) H23災害対策、東日本大震災履行遅延等にかかる取崩(100)
当期総利益	376	-	376	639	▲262	

経常収支比率 ³	100.5%	100.0%	0.5%	102.9%	▲2.5%
---------------------	--------	--------	------	--------	-------

<法人共通コメント>

【費用】

- ・科学技術振興事業費の再審査通過をはじめ外部資金獲得に努めた結果、研究経費が増加しております。(+211百万円)
- ・医療職教職員の確保策等により、附属2病院における人件費が増加しております。(+1,358百万円)

【収益】

- ・運営交付金交付額の減少(161百万円)に伴い、運営交付金収益が減少しております。(189百万円)
- ・外來単価の増、入院単価の増等により附属2病院における附属病院収益が増加しております。(+1,466百万円)

【その他】

- ・附属病院において359百万円の赤字を計上しましたが、医療職の確保策、施設整備等によるものであり、翌期以降は収益に転化できるものと考えております。
- ・22年度に退職給付引当金制度を導入し、臨時損失として計上していた退職給付費用については、将来にわたり安定的に法人運営ができるよう、当期においても適正額を計上しております。(726百万円)
- ・法人全体としては、災害対策や東日本大震災による履行遅延の支払にかかる目的積立金取崩を含め当期総利益376百万円を確保しております。

<凡例>

- ・表における各数値は単位未満を切り捨てて表示しているため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

- ・「経常利益」「当期純利益」「当期総利益」の項目名については、数値がマイナスの場合にはそれぞれ「経常損失」「当期純損失」「当期総損失」と記載するのが本来の表記方法ですが、この表では便宜上「～利益」に表記を統一しています。

- 1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益
- 2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
- 3 医薬材料費比率 = (前年度繰入分 + 当期医薬材料費 - 翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額
- 4 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

参考:週刊ダイヤモンド(2011/10/29号)

「特集 頼れる病院2011 2012」より(「満点」基準)

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・人件費比率: 50%未満
- ・経常収支比率: 100%以上

項 目	H23決算	H23 当初予算	予算差引 (-)	H22決算	前年度差引 (-)	対前年度増減理由	
経常費用	教育経費	1,409	1,709	▲300	1,392	17	東日本大震災による授業料特別減免の実施(+23)等
	研究経費	2,488	2,441	46	2,276	211	イノベーションシステム整備事業(旧科学技術振興調整費)の再審査通過に伴う補助金の受入増(+341)等に伴う支出増
	人件費合計	6,602	6,595	6	6,472	130	
	役員人件費	39	39	-	39	-	
	教員人件費	5,002	4,908	93	4,850	151	退職給付費用の計上による増(+267 前期臨時損失で計上) 退職手当費用の減(182)
	職員人件費	1,560	1,648	▲87	1,582	▲22	教員人件費セグメント振替の影響(+100) 職員人件費給与改定、期中欠員等による減(72)等
	一般管理費等	727	830	▲103	716	10	東日本大震災による入学金減免の実施(+3 過年度収益の減免であるため雑損として処理)等
	減価償却費	758	772	▲14	703	54	資産取得増に伴う減価償却費の増
経常費用合計	11,986	12,350	▲364	11,561	424		
経常収益	運営費交付金収益	6,515	6,591	▲75	6,644	▲129	交付減(356) 資産取得減による収益化増(+ 287)等の影響により微減(129)
	授業料収益等	2,957	2,888	68	2,989	▲32	休退学者増による収益減(34)等
	外部資金合計	1,919	1,874	45	1,562	356	
	受託	735	599	135	567	167	外部研究費獲得増による収益増(+167)
	奨学寄附金	565	553	11	576	▲11	奨学寄附金支出額減による収益減(11)
	補助金	618	720	▲101	418	200	イノベーションシステム整備事業の再審査通過に伴う補助金の受入増(+341)、資産取得増(+128)等による収益減(141)
	資産見返負債戻入	573	590	▲17	549	24	資産取得増に伴う資産見返負債戻入の増
	雑益等	540	406	134	405	134	科学研究費補助金獲得増による間接経費収入の増(+92)等
経常収益合計	12,506	12,350	155	12,152	353		
経常利益	520	-	520	590	▲70		
臨時損失	7	-	7	1,357	▲1,350	H22固有事由(退職給付費用・過年度人件費追給)からの減(1,334)等	
臨時利益	1	-	1	22	▲21		
当期純利益	514	-	514	▲743	1,258		
目的積立金取崩額	42	-	42	800	▲758	H22固有事由(退職給付費用への充当)からの減(785)等 H23災害対策、東日本大震災履行遅延等にかかる取崩(+42)	
当期総利益	556	-	556	56	499		

人件費比率 ¹	52.8%	53.4%	▲0.6%	53.3%	▲0.5%
経常収支比率 ⁴	104.3%	100.0%	4.3%	105.1%	▲0.8%

附属病院

(単位:百万円)

項 目	H23決算	H23当初予算	予算差引 (-)	H22決算	前年度差引 (-)	対前年度増減理由
診療経費	10,827	11,059	▲232	10,202	625	
うち医薬材料費	7,057	7,026	31	6,496	561	延べ入院患者数の増(+3,082人)や高額医薬品の使用増等による医薬品費の増(+480百万円)
教育・研究・受託研究・一管等	456	438	18	374	81	未収附属病院収入の損失計上(過年度分)(63百万円)
人件費	10,374	10,064	310	9,508	866	医師・看護師の増(511百万円)、退職給付費用の計上(194百万円)、各種手当の増(161百万円)等による増
減価償却費	1,248	1,281	▲33	1,203	44	
経常費用合計	22,907	22,844	63	21,289	1,618	
運営費交付金収益	2,188	2,242	▲54	2,432	▲244	施設整備等による収益化額の減
附属病院収益	19,555	19,792	▲237	18,738	816	周産期関連病床7床の稼働、小児入院医療管理料3の取得等による入院収益の増(対前年度比+549百万円)、外来単価の増等による外来収益の増(対前年度比+267百万円)
資産見返負債戻入	274	285	▲11	282	▲8	
補助金等収益	183	226	▲43	199	▲16	
雑益等	322	297	25	328	▲5	
経常収益合計	22,523	22,844	▲320	21,982	541	
経常利益	▲384	-	▲384	692	▲1,077	
臨時損失	-	-	-	756	▲756	H22固有事由(退職給付費用、過年度分支給手当等)からの減(756)
臨時利益	-	-	-	74	▲74	H22固有事由(第1期中期計画終了に伴う運営交付金退職金分の収益化)からの減(74)
当期純利益	▲384	-	▲384	10	▲394	
目的積立金取崩額	24	-	24	432	▲408	H23災害対策、東日本大震災履行遅延等にかかる取崩
当期総利益	▲359	-	▲359	443	▲802	

入院単価	63,323円	63,185円	138円	61,640円	1,683円	特定入院料、注射料の増等による増
病床利用率	88.7%	91.0%	▲2.3%	88.7%	-%	
平均在院日数	16.4日	16.0日	0.4日	16.4日	-日	
外来単価	13,001円	12,516円	485円	12,243円	758円	注射料の増等による増
外来患者数/1日	1,918人	1,945人	▲27人	1,957人	▲39人	
医薬材料費比率 ³	36.1%	35.5%	0.6%	34.2%	1.9%	医薬品費の増
人件費比率 ²	53.1%	50.9%	2.2%	50.7%	2.4%	医師・看護師の増及び退職給付費用等の増
経常収支比率 ⁴	98.3%	100.0%	▲1.7%	103.3%	▲4.9%	

センター病院

(単位:百万円)

項 目	H23決算	H23 当初予算	予算差引 (-)	H22決算	前年度差引 (-)	対前年度増減理由	
経常費用	診療経費	12,132	11,862	270	11,638	494	光熱水費等の経費の増(対前年度比+152百万円)
	うち医薬材料費	7,893	7,539	353	7,653	239	延べ患者数の増加(入院+788人、外来+7,930人)等による医薬材料費の増(+239百万円)
	教育・研究・受託研究・一管等	391	534	▲142	338	53	
	人件費	11,216	11,354	▲138	10,724	492	退職給付費用(264百万円)及び夜間看護手当(97百万円)等の増加による増
	減価償却費	774	794	▲20	741	32	
	経常費用合計	24,515	24,545	▲30	23,442	1,072	
経常収益	運営費交付金収益	568	982	▲413	384	184	
	附属病院収益	23,466	22,941	525	22,816	650	外来単価の増、病床利用率の向上及び在院日数の短縮、精神医療センターの精神科救急入院料1(スーパー救急)取得等による附属病院収益の増(+650百万円)
	資産見返負債戻入	195	203	▲7	197	▲1	
	補助金収益等	122	135	▲13	157	▲35	
	雑益等	307	283	24	251	56	
	経常収益合計	24,660	24,545	114	23,807	853	
経常利益	145	-	145	364	▲218		
臨時損失	-	-	-	945	▲944	H22固有事由(退職給付費用、過年度分支給手当等)からの減(944)	
臨時利益	-	-	-	100	▲100	H22固有事由(第1期中期計画終了に伴う運営交付金退職金分の収益化)からの減(100)	
当期純利益	145	-	145	▲479	625		
目的積立金取崩額	33	-	33	619	▲585	H23災害対策物資購入に係る取崩	
当期総利益	179	-	179	139	39		

入院単価	67,939円	67,258円	681円	67,525円	414円	精神科救急入院料1(スーパー救急)取得等による増
病床利用率	90.2%	90.5%	▲0.3%	90.1%	0.1%	新入院患者の増による利用率の向上
平均在院日数	14.8日	14.9日	▲0.1日	15.0日	▲0.2日	新入院患者の増による在院日数の縮減
外来単価	13,995円	13,180円	815円	13,150円	845円	薬剤料、注射料の増加による増
外来患者数/1日	1,965人	1,945人	20人	1,941人	24人	
医薬材料費比率 ³	33.6%	32.9%	0.8%	33.5%	0.1%	医薬品費の増
人件費比率 ²	47.8%	49.5%	▲1.7%	47.0%	0.8%	退職職給付費用及び夜間看護手当等の増
経常収支比率 ⁴	100.6%	100.0%	0.6%	101.5%	▲0.9%	